2008年12月22日(月曜日)

深 选 高 校 亲斤 周

校歌にも「自治を生命の

第243号



ります。私の入学の頃は他 明治三十年創立となってお がやろうとする志であり積 統の中に礎かれ、脈々とし 深志百三十年余の歴史と伝 な」と歌われている様に、 若人は強き力に生きるか 十年頃からですが、被雲会 極性であると思います。 て生きつづけてきた、自ら 自治学寮の発祥は明治三

ました。ちょうど櫻花咲き 時間の世界新記録を達成し 優勝を遂げられた優勝旗が 全国柔道大会に栄ある全国 先輩の飯沼正明飛行士が東 大いなる誇りでありました。 飾ってあり、われら深志生の また入学の頃、わが深志 -ロンドン間を九十四

とは何か。 は申すまでもないが、自治 きは自治の精神であること 我が深志の天下に誇るべ に良有社と自治寮があり、 に入会できるようになって この四つの自治学寮に自由

したが、校長室には前年の 私は昭和十二年の人学で

甲子男

日本中がよろこびに湧きあ

沼飛行士を讃える流行歌で、一出であり、母校上空すれす がったことも懐かしい思い一いただいたことも思い起こ れの記念飛行や記念講演を

に退任された。そこで、穂刈様に退任に即してお言葉をいただいた。 た、株式会社「林友」の代表取締役会長でもある穂刈甲子男様がこの度、本校同窓会会長を今年9月 -999年9月に松本深志高校同窓会会長に就任されて、以来本校同窓会をリードしてきて下さっ

時半起床。清掃三十分間。 作すべて自治生活で、朝五 年生からでしたが、起居動 私の尚志社入寮は中学三

同窓会会長交び

全員で唱えあう。 『思ふに浦賀の一砲は巓国

の迷夢を破りて宇内の大を一で交しあう自活生活でした 堂に正座して輪講。上級生の講話を終えて六時半から六時半まで全員講っの遺訓を中心に三十分間 を中心に先ず尚志社主旨を一致となるわけですが、合 元輩後輩同志学びあい友情 っの遺訓を中心に三十分間 ッ会せよ 旧による起居動作を通じて そのあと論語や先覚者た

と期する者 今果たして幾 以て吾人の天職を実行せん 苟も志を億兆休戚の上に 将来の時難に投じ (中略)

> ともなり、得たことを反省し が、その後のわが人生の礎

っ 同感の士夫れ希くば来 位の起る実に比に見る所あ つつ感謝している次第です。

のが、国際教養大学学長・理事長である中嶋嶺維様である。中嶋様は深志今度、退任された穂刈様に変わって本校同窓会会に新たに就任された 今回の就任に即して、中嶋様に就任の言葉をいただいた。

7回生である。

関係論』『1世紀の大学』 中国学・アジア地域研究。 専門は国際関係論・現代 人学学長などを経て現職。 **社会学博士。東京外国語** 土。 東京大大学院修了· エまれ。深志第7回卒業 以。1936年、 **書に『北京烈烈』『国際** 四際教養大学理事長·学 (略歴) 公立大学法人 松本市

た。その頃、東京の暁星高 ssociation Gauloise) した。ゴーロア協会(L'A 尚校でフランス語を学びま 持もあって、「私は今から半 になったので、パーティの るサークルもつくりまし いうフランス文化を重ん 紀以上も前に松本の深志 と考えている。その延長線 をもつものになってほしい on)のように、母校としっ 窓会 (alumni associati アメリカの高校や大学の同 就任したことは大変光栄な る。その母校の同窓会長に 本深志高校はいまも私の目 かり連携した知的支援機能 者の親睦団体の域を超えて ことであり、 常のなかにいつも活きてい このようにわが母校・松 同窓会が年配

あったのであろう、大きな ない出席者の方々からは、 教えていたことなどは知ら とフランス語を正課として 高校が英語以外にドイツ語 れていたので、当時の深志 流基金日米センター前所長 いることについても国際交 べて英語でおこなわれてい 教養大学は授業も会議もす 拍手喝采を頂戴した次第で いう組み合わせの意外性も 知らず、私とフランス語と 私と英語や中国語ならいざ の紿田英哉氏が紹介してく から優秀な学生が集まって るユニークな大学で、全国

ない次第であります。 ことを心から期待して止ま 志たかく更に研きあげ、 だいたこの深志自治の宝を、 おりますが、諸先輩たちの りなく発展成長させてゆく 営々として礎きあげていた 周年を記念して深志教育会 財団法人深志尚学会の設立 館が建立され今日に至って となり、跡地に深志百三十 和二十三年に解散となり深 志同窓会に寄贈され、後に 尚志社は戦後間もない昭 限

冬期講習 12/19金 ▶ 1/9 金 各講座4日間完結 高3生 直前講習 1/21 € ▶ 2/18 € 各講座3日間完結 ◎勝利の定跡! 年始ライブ 1/1・2 ◎センター試験直前テストゼミ 1/3・4 定員に達しましたので受付を終了しました。 高1・高2生 12/28 目 ▶ 1/4 目 12/31・1/1 休講 信学会 松本市深志2-4-1 tel.0263-32-5588

## 行列でにぎわい、祝賀の飯 誇るなか、街中祝賀の提灯

## 松本深志高校と フランス語と 同窓会会長就任のことばに代えて

嶋 領 雄 (国際社会学者)

ろが最近は高校でフランス 氏らフランス語関連の方々 キャスターだった磯村尚徳 のフランス人やNHKの名 卒業生とのことで、 さんの喜寿をお祝いする会 ンス語で有名な暁星高校の があった。深田さんはフラ 熱商人」などの作品で知ら れる友人の作家・深田祐介 東京で、「新西洋事情」「炎 何人か しているとのことで、フラ

との関係をもっと重視すべ ス、ドイツなどヨーロッパ りでなくフランス、イギリ 露されていた。その場は、 をメインにすることになっ 日本がアメリカや中国ばか たとの憂いを深田さんが吐 星高校でも、英語や中国語 きだとの論議に傾いていっ ンス語教育に伝統のある暁

間もなく私が挨拶する番 | 字長をしている秋田の国際 かれている女性評論家の金 の中国語でのスピーチを聞 校は私たちの憧れの的でし 美齢さんもおられ、今私が には中国研究者としての私 ンス語でお話した。そこ とあえて久しぶりのフ

する多くの人材が母校から ル化の時代に国際的に活躍 上で、これからのグローバ